

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル笑明かり・咲明かり(笑明かり)

## 目標達成計画

作成日: 平成 29年 3月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18・25	利用者の意欲、力が発揮できる機会を奪っている可能性がある	ご利用者の力を引き出せるように1週間に1回は新たな挑戦をする	①ご利用者主体できることを理解し、自ら行う事は無理に止めない②何事も共に行い、1人1人の力を把握する③失敗を恐れず、何でも挑戦をし、出来ないと決めつけない④その人らしさを尊重する為に、時間にとらわれず1人1人のペースに合わせる⑤自分で出来たと言う達成感を持てるように、持つゆとり・見守る力を身に付ける⑥職員間で情報を共有する(ミーティング・申し送り・申し送りノート等)⑦業務ではなくご利用者との時間を優先する	12ヶ月
2					ヶ月
3	23・38	個別ケアが出来ていない	1人1人の事を深く考えて、知る事が出来る	①全体ではなく個人としてみる②ご利用者の言葉や言動等に常に「なんで？」と掘り下げて考える③ご利用者の気持ちや新たな情報等が獲得できるように、職員個人個人が積極的に関わりを持って職員間で情報共有をする④マイナス面をプラス面に変えていく⑤ご本人を知る為に認知症の理解をもっと深める⑥一目でどのような人か分かるように、個人個人に状態が可視化できるようにする	12ヶ月
4					ヶ月
5	19	ご家族とのコミュニケーションが少ない	ご家族と情報共有をする事が出来る	①面会時は必ず現状報告をする②現状報告で何を話したか記録に残し職員間で情報共有を行う③信頼関係を築く為に、積極的に笑顔で話をして話しやすい雰囲気作りをする④職員の話し方・表情・口調等に気を付ける	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。